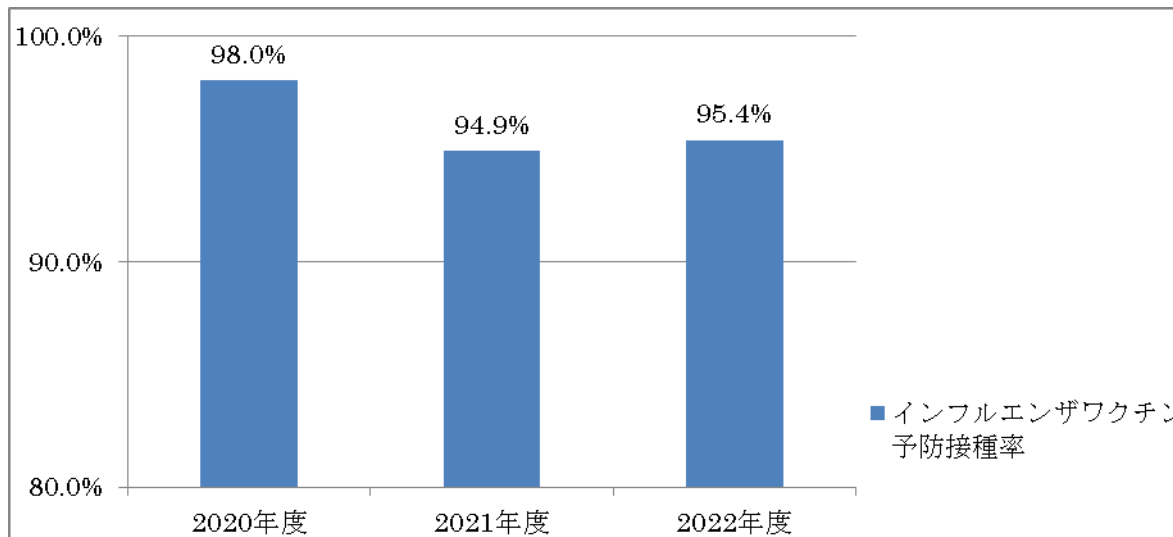


(7) 職員におけるインフルエンザワクチン予防接種率

【指標の説明】

・病院職員はインフルエンザに罹患した患者さんと接する機会も多く、インフルエンザを発症するリスクは一般の人々と比べて高い傾向にあります。医療機関を受診する患者さんは、免疫力が低下していることが多く、職員からの感染を防止する必要があります。職員のインフルエンザワクチン予防接種率は、院内感染防止対策への取り組み、また患者さんの安全へ繋がる評価と考えます。当院では、インフルエンザの流行前にワクチン接種をすることと考え、アレルギー等で接種ができない職員以外は、全職員のワクチン接種に努めております。



【定義】

$$\frac{\text{インフルエンザワクチンを予防接種した職員数}}{\text{職員数}}$$

× 100(%)